



館山だより

大田区立館山さざなみ学校
 校長 長井 恒治
 〒294-0223
 千葉県館山市洲宮 768-117
 TEL 0470-28-1811
 FAX 0470-28-1812
<http://tateyamasazanami-es.ota-school.ed.jp>

「さわなみ食堂」

副校長 矢口 泰

先月の「あわ夢まつり」にはお忙しいところ多数のご参観いただきありがとうございました。

一学期も残すところわずかとなりました。入校当初は親元を離れ、長期にわたり集団生活を送る不安や戸惑うお子様もおりました。本校の子供たちにとって、心の支えとなっている一つに、「さわなみ食堂」の一日三回の食事とおやつがあります。本校栄養士と給食調理師八名が力を合わせ、調理しています。子供たちの健康課題克服をねらいとする献立を企画し、時には研修会で学んだ献立を試作してから調理したものを配膳しています。

健康な体を維持・向上させるためには、適度な睡眠と運動、バランスのよい食事、健やかな心が必要です。子供たちは、毎回残菜ゼロ・健康な体づくりを目指し、さわなみ食堂で学年毎に食べたり、健康課題のグループ毎に食べたりします。時には食堂を離れ、教室で食べる場合もあります。年間に三回の青空給食では、大きなシートを敷き、先生と子供たちで食べます。年間を通じ様々な形態で食べることで、周りの人から刺激を受け、偏食の克服とともに食に対する関心も高まります。

学校給食なので、生ものの刺身類は、食べることはできませんが、地元で獲れた新鮮な魚をそのまま焼いたり、煮たりし、時には練り物として子供たちに提供します。また、房州枇杷も、東京に出回る物とは違い、果肉の厚さがしっかりとっていて、とても美味しく年三・四回給食に出ます。トマトやキュウリなどの野菜類も野菜の味が濃い感じがします。館山は、地元の海の幸・山の幸に恵まれ、その新鮮な素材を使うことで、子供たちの体質改善に結びつけています。

夏休み中は、学校で身に付けた規則正しい生活を維持し、元気に九月から登校できるように、ご協力をお願いいたします。

うれしきは自分に返ってくる「あわ夢まつり」 四年担任

今年の四月。初めてあわ夢まつりの打ち合わせの時、半分以上の子が未経験で、どこまで子供たちが頑張れるのか不安の方が大きかった。第一回目の練習会の時に、はじめて観ている子に声をかけると、「こんなの踊れないよ。」と下を向いていた。

しかし、練習開始から自然と六年生が下級生に声をかけてくれ、子供たちの中から『やる気』が生まれてきた。狭い教室に下級生も上級生も関係なく集まり、先生方も一緒に汗をかいていた。ある時は、教員室前の芝生で放課後に練習している姿もあった。「一曲しか踊れない。」と思っていた自分が情けなくなるほどの子供たちの可能性に驚いた二か月だったように思う。歌や演劇が初めての子も、今年入ってきたばかりの六年生も、自分の思いを表現するんだ、と毎日練習を繰り返した。

本番を観てくださった館山の方々が、「今年も大成功ですね。」「毎回子供たちのあの真剣な目に感動してしまいます。」「とわざわざ楽屋に来て話してくださいました。私は？という・・・舞台のそでで子供たちを見つめながら、落ちそうになった股引にも負けずに堂々と踊りきった六年生の女子や、大声で歌いながら踊っていた四年生の男子、顔も見えず声も聞こえないが、気持ちがいっかりと伝わってきて涙が止まらなかった。

きつと、この学校に来ていなかったらこんな経験をすることはなかっただろう。仲間と一緒に励ましあってやり遂げ、肩を組んで歌い涙する喜びをきくと忘れることはないと思う。頑張った分、つらかった分、いやそれ以上の嬉しさが一人一人に返ってきのだと思う。



嬉しきは自分に返ってくる

夏の体験入校

体験入校担当

六月十四日(木)から十六日(土)の三日間、夏の体験入校が行われました。到着後の入校式では、寄宿舎の豊年太鼓の演奏で体験生を歓迎しました。二日目は在校生全員による息の合った合唱や合奏から、歓迎の会が始まりました。各学年が出し物をしたり、全員で歌を歌ったりして、さまざまな学校の雰囲気を感じられたことと思います。自立活動では、全員でサッカーをして、体を動かすことを通じて交流を深めました。夕食後の寄宿舎の夏祭りでは、在校生が収穫したじゃがいもから作られたじゃがバターや魚釣り、輪投げなどの模擬店を楽しみました。

三日目は各クラスでの学習を中心に、健康課題別グループに分かれた自立活動などを行いました。体験児童は自分の健康課題に応じた学習がどのようなものか、初めて知るいい機会になりました。この三日間、在校生、体験生と共に新しい友達との出会いがあり、また体験生は館山の自然に囲まれて過ごして普段とは違った生活を送りました。閉校式では在校生から「九月からの入校を待っています。」という言葉がたくさん聞こえました。

海水浴

図工専科

♪海よ 海 おーい 海 元気かい♪

本校の校歌の一番の冒頭の歌詞で歌われているように、教室や寄宿舎の窓からは、茫洋たる太平洋が一望できます。このように恵まれた環境を生かさない手はなく、本校では毎年、磯遊びを含めて三回の海水浴を計画しています。

今年度も六月二十二日(金)に、第一回海水浴(根本海岸での磯遊び)を予定していました。しかし、六月上旬に梅雨入りした関東地方を覆った分厚い雨雲は、月半ばになっても垂れ込めていて、十八日(月)に予定していたプール開きも、体育館で行うことを余儀なくされてしまいました。

しかし、「海水浴いきたいよ。」「磯遊びやりたいよ。」「という子供たちの熱意が届いたのか、天候が急変し、絶好の海水浴日和となりました。砂浜に散在しているタカラガイを拾ったり、潮溜まりのヤドカリやカニを捕まえたりして、楽しいひと時を過ごしました。

日に焼けた子供たちの笑顔は輝いていました。日焼けの色は時とともに褪めていきますが、心に映した思い出は、色褪せることなく鮮やかに残っているに違いありません。

7月の行事予定

- 2日(月) 全校朝会(オリパラ学習)
トウモロコシ収穫・身体計測
安全指導日・水泳(5・6校時)
- 3日(火) バランス給食・サッカークラブ(舎)
- 4日(水) SC来校、ALT来校
- 5日(木) 都学力向上を図るための調査(5年)
- 6日(金) 波左間海水浴
- 7日(土) 授業日・モチモチの木
水泳(5・6校時)・一輪車クラブ(舎)
東京ベーシックドリル
- 9日(月) 全校朝会(オリパラ学習)
トウモロコシ収穫予備日・学級給食
- 10日(火) 移動図書館わかしお号
自転車クラブ(舎)
がんの講話(5・6年対象)
- 11日(水) SC来校・ALT来校・委員会
卓球クラブ(舎)
- 12日(木) 水泳(5・6校時)
- 13日(金) 波左間海水浴
- 14日(土) 誕生会(舎)
- 16日(月) 海の日・授業日・全校朝会
プール納め
- 17日(火) 大掃除週間(20日まで)
縄跳びクラブ(舎)
- 18日(水) 体重測定(海)・SC来校
クラブ
- 19日(木) 体重測定(空・大地・サン)
- 21日(土) 終業式・帰省日・SC来校
- 23日(月) 夏季休業始

第一回校外学習

校外学習担当

情報社会に生きる子供たちにとってテレビは身近に親しまれるものです。しかし、子供たちは常に受信者としてそこに携わっており、制作の背景について考えることはありません。そこで、今年度はNHKの見学に行き、制作現場について学ぶことを通じて、そこに携わる人の思いや、工夫について考えさせることにしました。

今年度の見学は、NHKスタジオパークで施設を回るだけでなく、NHKの杉浦チーフ・プロデューサーから番組作りについてお話を伺う機会が得られました。普段視聴している番組に映っている人は一人であっても、そこには多くの関係者が携わっていることを知ると子供たちは驚いていました。杉浦さんは、子供たちに「番組作りで何が一番楽しいか。」「と問われると、「楽しんでくれることではないか。」「と予想させるとともに、「それは勿論だが、何よりも番組を通して多くの人と関わることが楽しい。」「とおっしゃっていました。

人との繋がりを大切にすること、番組には温かみがあり、訴えるものがあることを子供たちは学ぶことができました。普段何気なく視聴しているテレビも、舞台裏から考えることで、受け身の立場から発信者側の立場へと考えが深まるよい学びの機会となりました。

